

東武博物館主催
向島文化サロンご案内

山岡莊八と

『徳川家康』

の戦後

戦後読書ブームを代表するベストセラーである
山岡莊八の『徳川家康』(1953/67年刊)をめぐるのは、
作中の家康の部下操縦術に注目して
〈経営者のバイブル〉とする見方が支配的です。
しかしこの作品は本当は、
山岡莊八が激動する日本の戦後と対話しながら書いた、
戦後日本への重い問いかけの書であったのです。

第1回

2018年2月11日(日)
14:00~15:30

誤解されてきた 『徳川家康』

『徳川家康』(全二六巻)をめぐるのは、作中の家康の部下操縦術に注目して〈経営者のバイブル〉とする見方が支配的です。しかし、こうした見方は1953年から刊行され始めた『徳川家康』が62年頃から突如評判になった際に、一部のマスコミが広めたものに過ぎません。今回は『徳川家康』がそのように誤読され、歪められてきた過程を明らかにします。

第2回

2018年3月11日(日)
14:00~15:30

山岡莊八と『徳川家康』の 戦後との関わり方

〈経営者のバイブル〉が主要素でないとすれば、『徳川家康』の中心部分は何であったのか。この問題を解くカギは、戦国時代ではなく戦後の現代のほうにあります。山岡莊八と戦後との関わり方、ひいてはその山岡の作品である『徳川家康』と戦後との関わり方を明らかにすることで、『徳川家康』の中心部分に迫ります。



講師

藤井淑禎
(ふじい ひでただ)

立教大学名誉教授。専門は、近代日本文学文化、戦後大衆文化、ミステリーなど。著書は、『小説の考古学へ』『清張 闘う作家』『清張ミステリーと昭和三十年代』『高度成長期に愛された本たち』『名作がくれた勇気』『純愛の精神誌』『望郷歌謡曲考』『御三家歌謡映画の黄金時代』『漱石紀行文集』(編著)『テレビドラマが輝いていた時代』など。

- 場 所 / 東武博物館ホール 東武スカイツリーライン「東向島」駅下車 ※詳しくは裏面をご覧ください。
- 定 員 / 各講演とも180名(応募多数の場合は抽選)
- 参加費 / 無料
- 応募条件 / 第1回・第2回の講演は2回1セットの応募(個別の応募はできません)
- 応募方法 / ハガキとインターネットによる2通りの応募が可能です。

【ハガキの場合】裏面に「講演会タイトル」を明記の上、お客様の氏名、性別、年齢、郵便番号、住所、電話番号をご記入いただき、ご郵送ください。

【インターネットの場合】東武カルチャースクールのホームページ(www.tobu-culture.co.jp)にアクセスの上、「向島文化サロン」バナーをクリック。上記同様の必要事項をご入力して、送信してください。

※一度に複数名のご応募はできません。1回の応募で1名様のみご当選となります。

- 締 切 / 2018年1月15日(月)必着。※当選者には約1週間を目途に、ご案内の通知をさせていただきます。
- 宛 先 / 〒171-0021 東京都豊島区西池袋5-1-3 東武カルチャ「向島文化サロン」T係
- 主 催 / 東武博物館

参加費無料

お問い合わせ ☎ 東武カルチャ TEL.03-3988-4855 www.tobu-culture.co.jp

※講演のテーマ内容は変更になる場合もございますので、ご了承ください。 ※ご応募いただきました方の個人情報、当選ハガキ発送以外の目的で使用することはありません。